

51	岩田 祥子	*	11	0	1	5	7	1	3	0	3	1	4	3	2	0	0	23:40
52	鈴木 あや	*	6	0	0	3	6	0	0	3	1	1	2	0	0	0	1	16:36
	チーム		0	0	0	0	0	0	0	0	6	13	19	0	0	0	0	
			87	10	29	27	50	3	7	11	20	39	59	17	6	3	5	200:00

北海道地区2位、北海道教育大学岩見沢校と、東北地区2位、東北学院大の一戦。立ち上がりは、接戦となったが、その後は東北学院大ペースで試合が進んでいく。東北学院大は#7川崎、#17佐々が攻撃の中心となり、次々と加点していく。一方の北教大岩見沢校も#8岡、#23元茂が果敢に1on1を仕掛け対抗するが、87-46で東北学院大が快勝し、2回戦進出を果たした。

第1ピリオド、北教大岩見沢校は序盤、#23元茂のシュートが立て続けに決まり、8-3とリードする。しかしその後、相手のディフェンスを崩せず得点が止まってしまう。対する東北学院大は、#7川崎の3Pシュートが当たり、このピリオド12得点の活躍を見せる。終始、安定した攻撃を展開し、27-15。東北学院大がリードし、第1ピリオド終了。

第2ピリオド、東北学院大は、#17佐々のスピードに乗ったドライブを始めに全員が果敢にリングに向かう。最後まで勢いは衰えず、相手を圧倒しリードを広げていく。一方の北教大岩見沢校は、思うように得点が伸びず、我慢の時間帯が続く。しかし、#8岡が要所でシュートを沈め、何とか喰らいつく。48-26と、東北学院大のリードは変わらず、前半を折り返す。

第3ピリオド、東北学院大は序盤、#9庄子が攻守に渡る活躍をみせ、チームを牽引する。その後も攻撃の手を緩めず、次々と加点していく。対する北教大岩見沢校は、果敢にシュートを放つが、相手のプレッシャーに押されてしまい、決め切ることが出来ない。このピリオド、8得点と我慢のピリオドとなる。72-36と、東北学院大がさらにリードを広げ、第3ピリオド終了。

第4ピリオド、東北学院大は、出場選手全員が果敢にリングに向かい、順調に加点して行く。さらに、ディフェンスで相手を圧倒し、簡単に得点を許さない。一方の北教大岩見沢校は、#23元茂、#8岡が中心となり、攻撃を仕掛けるが、シュートを決め切ることが出来ず、得点が伸びない。最後まで、粘りを見せるが、タイムアップ。87-46と、東北学院大が快勝し、2回戦進出を果たした。